

■当日のスケジュール

県立学校共同実習船建造調印式

日時：2013年6月6日（木）午前11時00分～

場所：県立宮古水産高等学校 第一体育館

次第：

1 開 会

2 出席者紹介

3 来賓紹介

4 調 印

公益財団法人日本財団

常務理事 海野 光行

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

代表理事 大井 誠治

岩手県

知 事 達増 拓也

（1）調印書署名

（2）握手

5 あいさつ

岩手県

知 事 達増 拓也

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

代表理事 大井 誠治

公益財団法人日本財団

常務理事 海野 光行

6 記念品贈呈 ※日本財団から生徒代表に記念品（号鐘）を贈呈

公益財団法人日本財団

常務理事 海野 光行

県立宮古水産高等学校

生徒代表

7 生徒代表あいさつ

8 写真撮影

9 太鼓演奏

10 閉 会

宮古水産高等学校食品実習室設備完成披露会

日時：2013年6月6日（木）午前11時30分～

場所：県立宮古水産高等学校 食品製造実習室

次第：

1 開 会

2 除 幕

公益財団法人日本財団

常務理事 海野 光行

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

代表理事 大井 誠治

岩手県

知 事 達増 拓也

県立宮古水産高等学校

校 長 在原 眞

県立宮古水産高等学校

生徒代表

3 導入設備の説明

4 食品製造実習の公開（試食）

5 閉 会

■ 詳細

県立学校・共同実習船関連

・共同実習船について

配備先：

- 宮古水産高等学校（岩手県宮古市）
- 高田高等学校（岩手県陸前高田市）
- 久慈東高等学校（岩手県久慈市）

※3校が共同で利用

総トン数：170t

全長：約 40 m

定員：34名

主機関：中速ディーゼル機関

稼働日数：200日程度／年

主な実習内容：

- サンマ棒受網漁、イカ釣り漁、サケ延縄漁、近海マグロ延縄漁、籠漁
- 沿岸航海運用学、機関学実習、航海実習、生物調査・研究 など

工事着工：2013年12月

完成：2015年3月

利用：2015年4月～

特記事項：最新式の機材を搭載、女子生徒に配慮した設備（トイレ・風呂他）の配置



実習船イメージ（参考：前実習船）

・日本財団からの支援額

548,600,000円（実習船建造関連費総額：986,450,000円）

・その他

1994年からマグロ延縄、イカ釣り、サンマ棒受、サケ延縄といった漁業実習や体験航海実習で活用してきた前共同実習船『翔洋』（139t）は津波で被災して使用不可となり、7月に解体された。

宮古水産高等学校・食品実習室設備支援関連

・食品実習室について

完成：2013年3月

利用：2013年4月～

実習内容：

- 食品家政科生徒を対象とした水産加工食品製造実習、
- 地元企業との商品開発研究 など

特記事項：

放射性物質検査設備の導入による安全面対応

宮古水産高等学校生徒と地元企業との製品開発研究、小・中学生の体験教室等でも活用



・日本財団の支援について

支援内容：冷凍機、食品製造実習用放射性物質検査設備、乾燥機、蒸気釜

支援額：23,660,000円